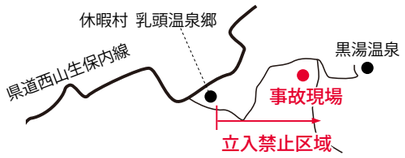
カラ吹き源泉事故について



3月18日、仙北市が管理する「カラ吹き2号源泉」から下流に200メートル程下った地点で、3名の方が亡くなる事故が発生しました。

田沢湖高原温泉郷へ温泉を送る引湯管の点検・調整作業中、作業委託していた作業員2名の方が倒れているのを仙北市企業局職員2名が発見。うち1人が駆けつけ助けようとしたところその職員も倒れました。現場からの通報により警察、消防が救出に向い、救助後、病院に搬送しましたが、3名の死亡が確認されました。

硫化水素ガスによる事故と推測されていますが、関係機関の現場検証を確認し、事故原因の確認と共に、事故への対応、対策を進めています。

市民の皆様へ

仙北市長　門脇光浩

市の温泉事業に起因する重大な事故が発生し、お亡くなりになった3名の皆様に心からのお悔やみを申し上げます。また、市民の皆様、並びに温泉事業関係者の皆様に深くお詫びを申し上げます。

現在、県警などで原因の究明が進んでいますが、これまで懸命に職務に従事した職員や作業に協力をいただいた皆様の手落ちではなく、危機管理が行き届いていなかった市の責務に関わるものと考えています。

事故発生直後に設置した事故対策本部では、関係機関と連携し、正確な情報の収集、適切な対策の構築、情報発信を行うべく、対応にあたっています。また、既に専門家のご意見も伺いながら、温泉施設の管理作業マニュアルの作成に着手しています。

二度とこのような痛ましい事故が発生しないよう、安全対策を講じ、全力で再発防止に努めます。

現在は事故現場（源泉）への立ち入りを規制しています

この事故は、乳頭温泉郷に近いカラ吹き源泉付近で源泉管理の作業中に発生した事故であり、旅行者が立ち入るエリアからは離れています。

乳頭温泉郷における入浴や宿泊には支障がありません。

観光施設、宿泊施設等の営業も通常どおり行っています。

「秋田県仙北市カラ吹き源泉事故」の時系列

3月18日（水）
- 16時50分　事故現場から企業局へ事故発生の一報（企業局工務課職員）、カラ吹き2号源泉付近にて作業員2名・市職員1名が倒れているとの連絡あり
- 17時01分　企業局より救急要請（119番）、広域消防本部での入電時刻17時02分、角館消防署田沢湖分署での入電時刻17時06分
- 17時05分　企業局より田沢湖庁舎総務課へ事故発生の一報（被害者3名）
- 17時30分　市事故対策本部設置（田沢湖庁舎総務課内）
- 17時45分　事故現地本部設営（休暇村乳頭温泉郷玄関前駐車場）
- 18時24分　事故現場にて被害者3名が折り重なるように倒れている状態を確認、深さ約2メートル
- 18時34分　被害者3名救出、3名は心肺停止状態、現場周辺は高濃度のガスが検出される
- 18時47分　被害者3名のうち作業員1名を事故現場から搬送開始
- 19時29分　被害者2名（作業員1名・職員1名）を事故現場から搬送開始
- 19時35分　現地本部にて作業員1名の死亡確認
- 21時05分　市立田沢湖病院にて作業員1名・職員1名の死亡確認

3月19日（木）
- 9時00分　仙北市事故対策本部会議（本部長＝市長）
- 9時00分～12時15分　実況見分（仙北警察署、角館消防署、大曲労働基準監督署）
- 11時00分　仙北市議会議員全員協議会　案件：カラ吹き源泉事故について

3月20日（金）
- 9時55分～11時48分　実況見分（仙北警察署、角館消防署）
- 10時00分　市道黒湯線（休暇村乳頭温泉郷付近）へ立入禁止看板、バリケード設置

3月23日（月）
- 9時00分　仙北市事故対策本部会議

3月24日（火）
- 市内ホテルや旅館業等事業所に対し、施設等の緊急安全点検や安全管理マニュアルの確認を文書で要請

4月からの新体制をご紹介します

平成27年度仙北市機構改革

多様化する市民ニーズにより早く対応できる体制を整えるために業務の集約や組織の統廃合など組織体制の見直しを行い、業務の効率化と行政サービスの向上を図ります。

❶ 管財課の廃止に伴い、財政課内に管財係を移転、「国土調査係」を新設し、管財課所掌の業務と公共施設総合管理計画策定業務を行います。また、検査室と入札契約室業務を一本化し、「契約検査室」として会計課の所属機関とします。

❷ 企画政策課に人口減少対策や空き家利活用対策を進める「定住対策推進室」を新設します。

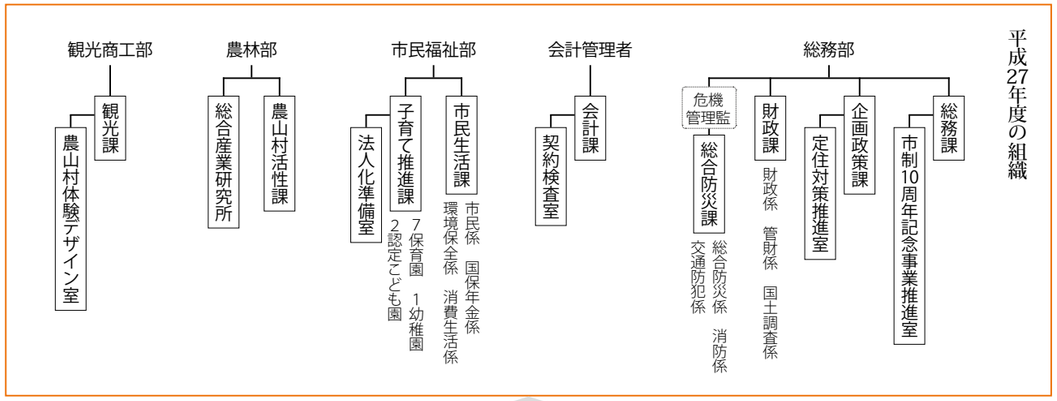
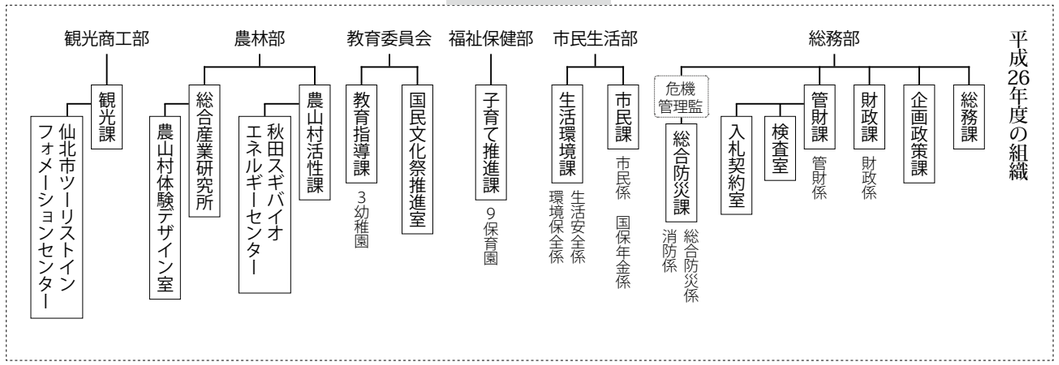
❸ 市制10周年記念事業の企画・運営を行うため、「市制10周年記念事業推進室」を総務課の所属機関として新設します。

❹ 市民生活部と福祉保健部を統合し、「市民福祉部」とします。また、市民課と生活環境課を統合して「市民生活課」とし、課内に「消費生活係」を新設します。これに伴い、生活環境課所掌の防犯と交通安全業務を総務部総合防災課へ移転します。

❺ 子育て推進課に教育委員会所掌の幼稚園業務を移行します。また、認定こども園と保育園の法人化事務を所掌する「法人化準備室」を新設します。

❻ 農山村体験デザイン室を観光課の所属機関へ移転し、企画政策課所掌の国際交流関係業務を移行します。また、秋田スギバイオエネルギーセンターを廃止します。

❼ 仙北市ツーリストインフォメーションセンターを廃止し、一部業務を観光課および観光連盟へ移行します。

❽ 平成26年度に秋田県で開催された『第29回国民文化祭・あきた2014』の終了に伴い、国民文化祭推進室を廃止します。

— 再編となる課・機関（抜粋） —